

戸田弥生による ～バッハ無伴奏～

ソナタとパルティータ 全曲リサイタル



◆料金 (軽食付き)

1回券 4,500円

2回券 8,000円

◆公演時間

開演 19:00 (開場 18:30)

終了 20:30 予定

◆会場 寺島文庫 Café みねるばの森 [03-5215-2950]

(地下鉄・九段下駅5番出口より徒歩3分)

第1回 10月4日(土)

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 全3曲

第2回 12月13日(土)

無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 全3曲

参加希望・お問い合わせ連絡先

tama-higuchisemi@googlegroups.com 又は 090-9683-5398

寺島実郎(多摩大学学長)が監修する知の安らぎと刺激の場「みねるばの森」で、日本が誇る女性ヴァイオリニスト・戸田弥生が出演。定評のあるバッハ無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータを2夜にわたって全曲演奏します。目の前で演奏される渾身のバッハ演奏が堪能できます。参加希望者は上記アドレスにお名前、ご本人様の連絡先(メールアドレス)を記述になってご連絡ください。後日、返信を持ちましてご連絡致します。皆様のご参加お待ちしております。参加希望者人数は40人を予定しております。(当日券あり)



photo (c) Akira Kinoshita

ヴァイオリニスト・戸田弥生

1993年エリーザベト王妃国際音楽コンクール優勝以来、日本を代表するヴァイオリニストの一人として、圧倒的な集中力による情熱的な演奏で聴く者を魅了している。

日本の数多くのオーケストラはもとより、ニューヨーク・チェンバー・オーケストラ、モスクワ・フィルハーモニー、プラハ・チェンバー・オーケストラ、ハーグ・レジデンティ管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団、ボン・ペートヴェン・ハレ管弦楽団、北オランダ・フィルハーモニー、セント・マーティン・アカデミー管弦楽団、ロンドン・フィルハーモニー、ベルガモ室内オーケストラ、ドイツ・カンマー・フィルハーモニーなどに出演し、また、小澤征爾、ユーリー・シモノフ、シュロモ・ミンツ、ジャン・ジャック・カントロフ、アレクサンダー・シュナイダー、スタニスラフ・ブーニン、ジャン・フルネ、ガリー・ベルティエニ、マルタ・アルゲリッチ、フランク・ブラレイ、アプデル・ラーマン・エル＝バシヤ、ジュラル・コセラとも共演している。

4歳からヴァイオリンを始める。1985年第54回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業し、1992年アムステルダム・スウェーリンク音楽院に留学。

1993年エリーザベト王妃国際音楽コンクールに優勝して一躍注目を集め、本格的な活動を開始する。1996年にはニューヨークのジュリアード音楽院から“ディレイ・スカラシップ”を受け、1年間に在籍。

1997年にニューヨーク・デビューを果たし絶賛を受ける。また、オランダの作曲家トリストラン・コイリス（1946～1996）から「ヴァイオリン協奏曲第2番」（1995）を献呈され、アムステルダム・コンセルトヘボウで初演した。

1999年にカーネギー・リサイタル・ホールで室内楽を中心としたリサイタル「Yayoi and friends」を開催した。

2009年にはアジアにも活動の場を広げ、上海で室内楽や武漢交響楽団との共演、韓国でジェジュ音楽祭に出演した。2010年は4月にオランダとスペインでのヴァイオリン・マスタークラスを、11月にピアノのヴァレリー・アフアナシエフとのデュオを東京および福井で行なった。デビュー20周年を迎えた2013年には、東京、大阪、神戸、福井にて、協奏曲、デュオ、無伴奏等多くの舞台上で大好評を博した。

これまでに、江藤俊哉、ヘルマン・クレバース、シャルル・アンドレ・リナール、ドロシー・ディレイの各氏ほかに師事。

CDは音楽之友社から「エネスコ、J.S.バッハ 他」と「J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ全曲」を、オクタヴィアレコードから、最新盤となる「20世紀 無伴奏ヴァイオリン作品集」のほか、「イザイ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲」、珠玉の小品集「子供の夢」をリリースしている。

国内外のコンクール審査員としても招かれ、2005年にはエリーザベト王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門審査員を務めた。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。2014年度より、フェリス学院大学音楽学部演奏学科教授を務める。

1994年、第4回出光音楽賞を受賞。

オフィシャルホームページ <http://yayoi-toda.com/>

